



議会だより

でいすかす

104号

発行：登別市議会／編集：広聴・公開委員会／発行日：2020.11.1

登別市議会

で

検索

または



市議会ホームページで、議会の活動や各種情報をご覧いただけます

委員会だより

本市では、令和3年度に都市計画マスタープラン（都市マス）・立地適正化計画（立適）の策定を予定しています。都市マスでは、20年後の将来を見据え、市内の都市計画における基本方針、区域区分の方針、主要な土地利用・都市施設等の方針を定めます。これらを高度化したものが、立適となります。

本委員会では、都市マスについて勉強会を開催するとともに、専門的サポーターの俵藤亥久生氏より立適をテーマに、意見交換会を

都市マス・立適についての意見交換会
観光・経済委員会



▲令和4年12月完成予定 登別駅前拠点施設のイメージ



▲登別駅前広場（手前）と拠点施設（奥）のイメージ



▲登別市議会専門的サポーター 俵藤亥久生氏

実施しました。

平成14年度に初めて策定された本市の都市マスでは、7つの目標を基に、まちづくりが進められております。

意見交換会の中では、これまでの取り組みについて意見をいただき、他市の事例等を紹介いただきました。今後の取り組みとして、高齢者や子育て世代が安心できるよう、健康で快適な生活環境を実現することが重要であり、そのためには、交通網の利便性を向上させることや、地区の特色に合わせた中心市街地の活性化を進めることが大切であるとの意見をいただきました。

本委員会では、今回いただいた意見に加え、今後も意見交換会を行い、本委員会の政策提言に反映してまいります。

（宮武）

付託議案4件を

審査しました
総務・教育委員会

第3回定例会において、本委員会が審査の付託を受けた案件は、財産の取得についてが2件と、条例の一部改正についてが2件の計4件でした。

財産の取得については、1件目は、学校給食センターの食缶洗浄機及び食器かご浸漬槽（せんじくそう）の取得に係る議案であり、食缶洗浄機は購入から22年、食器かご浸漬槽は20年を経過し、ともに老朽化しているため更新するものです。

2件目は、文部科学省が進めている「GIGAスクール構想の実現」と、小中学校における児童生徒の情報活用能力の育成などを図るため、児童生徒1人に1台のパソコン端末を整備するものであり、合計で3千172台を購入します。

条例の一部改正についての1件目は、市特別職の給与に関する条例の一部改正であり、新型コロナウイルス感染症の影響を勘案し、市長、副市長及び教育長に支給される本年12月の期末手当の一部を減額して支給するための改正です。

2件目は、市消防団条例の一部改正であり、消防団定員の改正、任用要件の変更、機能別消防団員制度の設置などについて改正するものです。

（小栗）

子育て世代の支援体制を
強化、安心して相談を
生活・福祉委員会

第2回定例会以降、4回の委員会を開催し、所管事務調査12件、条例改正の審査2件を行いました。

主な案件は、登別温泉ふれあいセンターの廃止方針（案）についてパブリックコメントを実施後、11月に廃止方針を決定し、12月に廃止する条例（案）が上程される予定です。

次にコロナ禍における感染症への対策として、地域未来構想20の中では行政IT化として、行政手続きの徹底したオンライン化・電子処理化、ネット発信の強化が示されています。対策の一つとして保育所におけるICT化を進め、保育士の業務負担軽減と保育の質向上を図ります。保護者との双方向の情報発信や、緊急時や休みなどの連絡、連絡帳やお便り帳の電子化により自由度が広がり、時間の有効活用が期待できます。

また、本年10月、しんた21に開設された子育て世代包括支援センター「ネウボラのほりべつ」の感染拡大防止対策を整備します。訪問による相談とタブレットによるオンライン相談により、コロナ禍でも安心して相談ができる支援体制を構築していきます。

(千田)

令和2年第3回定例会 一般質問



広報・広聴勉強会

北海学園大学法学部の鹿谷雄一氏を講師に迎え、「市民と双方向性のある意見交換の在り方」をテーマに勉強会を行いました。課題として、市民は時間的な余裕を作り出すことが難しいことなどから、議会は市民の身近な存在になりにくいことがありました。本来の議会の在り方として、議会が市民目線で行政を監視することや、市民の意見を政策に反映することを通して、市民から評価される議会にしていくことが基本の在り方であるとお話がありました。

現在、広聴・公開委員会では市民から



▲鹿谷氏との質疑の様子

評価される議会づくりを目指すため、今回の勉強会を参考に、市民モニターによる外部評価の依頼を検討しております。

(佐々木)

コロナ対策の継続と 地域医療の確保



天神林議員の
一般質問
中継はこちら



市長所信表明の基本政策2「市民の心がきらりと輝くまち」では、新型コロナウイルス感染症の予防対策を継続するとともに、健康診査やがん検診・予防接種等の推進や地域医療の確保を図るとされているが、関係機関との連携など、具体的な取り組み状況について

学校の図書不足解消へ 辻弘之



議員の
一般質問
中継はこちら



電子書籍をオンライン上で借りられる「電子図書館」の開設に向けた方針が示されたことを受けて、一層の活用を提案しました。まずは、電子図書館と学校図書の貸し出しシステムを相互につなぐことで、学校における慢性的な図書不足の解消を目指すことにな

て聞きたい。

【答】 コロナ対策の継続と地域医療の確保に対する関係機関との連携では、今シーズンは新型コロナウイルス感染症と、インフルエンザの同時流行が懸念されていることから、症状が似ている疾患の発症を抑制し、医療機関の負担を軽減することが重要となる。

現在、室蘭市医師会及び室蘭市と連携し、例年11月から実施している高齢者インフルエンザ予防接種を、本年度は1カ月前倒しして、10月から実施する準備を進めている。

今後も、市民が安心して医療が受けられるよう、関係機関と連携し、地域医療の確保に努める。

りました。また、「登別市史」「郷土史探訪・郷土史点描」「片倉家北海道移住顛末」など、一般的には電子書籍化されていないが、市民にとって史料価値の高いものを独自に電子書籍化することになりました。

また、前年比較で4倍以上に増えたヒグマの出没・目撃情報を受けて、新たな対策強化を求めています。まずは、ヒグマを寄せ付けないよう、住民に対する嚴重な注意喚起を求めました。さらに駆除を行う場合、ハンターへの日額報酬がシカ駆除と同額のため、ヒグマ駆除の場合の報酬額を見直すよう求め、検討されることとなりました。

これからの公共施設の
在り方は

井野 正臣



井野議員の
一般質問
中継はこちら

市長の所信表明と所信表明に係る資料において、市有財産の積極的な処分と利活用に向け検討が示されています。老朽化した施設の管理や処分、利活用を判断する基準をどのように設けていくのか、公共施設に関する計画について質問しました。

答弁として、今年度策定の公共施設個別施設計画は、利用状況を踏まえ、各施設の状態や機能、将来的な改修や修繕対策を示しているとのことでした。本市が保有する施設の多くは老朽化が進行し、施設維持には多額の財政負担が想定され、施設の更新や統廃合・長寿命化などを適切に行い、税制負担の軽減や標準化を行うとともに、公共施設の適切な配置が重要との考え方が示されました。また、公共施設の除却に関するプランについては、廃止施設の規模や周辺施設への危険性、解体後の跡地利用などを勘案し、優先順位を定めた中期財政計画の見直しを行い策定を進めるとのことでした。

小・中学校の
統廃合計画をたただす

杉尾 直樹



杉尾議員の
一般質問
中継はこちら

市長の公約「人口減少を見据えた小・中学校の統廃合の推進と統廃合後の施設の有効活用」を踏まえ質問した。
質 現状における学校施設の様子は。
答 幌別東小と登別中は各学年1クラス、ほかの学校も学年によって1クラスと今後減少傾向が想定される。

質 統廃合を進める上での判断基準は。
答 充実した教育環境や通学範囲を踏まえ、適正な規模や配置を検討する。
質 統廃合にあたっての検討事項は。
答 学校規模、グループ学習や活動の習得度、教員配置や男女割合等である。
質 統廃合の検討開始や策定期間は。
答 学校適正配置の認識共有とともに、望ましい教育環境についての意見交換を昨年同様今後も各地区で行う。併せて市長部局と連携して基本方針を見直し、令和3年度を目標に「学校再配置計画」の素案を策定する。また、統廃合後の施設の利活用についても同様に、市民意見の反映に努める。

いじめ防止に向けた
取り組みは

足立 知也



足立議員の
一般質問
中継はこちら

質 いじめ調査アンケートを記名式ではなく無記名式にする考えはないのか。
答 無記名式にすることによって、児童・生徒の本音を引き出す効果はあるものと考えているが、アンケート調査からの聞き取りは、問題解決に直結することが多いため、多くの学校が記名

共同養育の大切さを
まちづくりに

伊藤 健太



伊藤議員の
一般質問
中継はこちら

子どもの貧困やひとり親家庭の生活困窮の要因の一つに、養育費の不払いなどがあります。本市の共同養育や養育費の課題について質問しました。
質 養育費取り決めの現状と課題は。
答 協議離婚件数に対して、養育費の取り決めをしている割合は高いが、受

式を取り入れている。
調査の主旨や記名による不利益が生じないことを、児童・生徒に丁寧に説明して記名式で実施していく。
質 いじめ防止条例を制定するべきと考えるが本市の考えは。
答 市、教育委員会、学校、教職員、保護者等、それぞれの役割、責務を明確化して、条例の制定は、広く市民に対して取り組みや姿勢を伝える一つの方法でもあり、いじめ防止に向けた関係者の意識向上、連携強化の取り組みの推進につながることを認識している。今後、条例についての研究も視野に入れる。

け取れている割合が低い状況であり、全国的な傾向と捉えている。
質 養育費に関するきめの細かい周知や啓発が必要なのは。
答 市民相談室や無料法律相談を主な受け皿として、広報紙での掲載内容や市公式ウェブサイトでも離婚関連のページを追加するよう検討していく。
質 本市が考える養育費とは何か。
答 親の果たすべき責務であり、子どもの進学や夢の実現にも大きく影響する費用でもある。不払いは、第一義的には国の責任において、法令等を含めた環境整備を行うべきものと考え。本市は、今後とも相談者の利益に結びつくような対応を心がけていく。

**コロナに負けない
基盤構築を**

今野 幹大




今野議員の
一般質問
中継はこちら

八ウを活用するため、前向きに参加を検討していきたい。

質 関係人口創出のため、テレワーク・ワーケーションについての考えは。

答 本市は全国有数の温泉を有し、テemapパークやアクティビティ等の観光資源も充実しているため、関係人口の創出と2地域居住を推進する観点から、ワーケーションは魅力的なツールと考える。今後は、ワーケーションに関する情報を収集していきたい。

**サンライバスキー場の
経営戦略は**

宮武 祥子




宮武議員の
一般質問
中継はこちら

質 コロナ禍において、内閣府から新しい生活様式の確立が示されたことを受け、民間企業や各関係省庁との協業推進のため、内閣府の地域未来構想20オーブンラボを大いに活用すべきでは。

答 課題の解決に当たり必要と判断した際には、専門家が有する技術やノウハウ

**カルルス温泉サンライバスキー場
経営戦略(10年計画)が策定されましたが、第一リフトの大規模修繕及び第三リフト休止の狙いは。**

答 リフト修繕費の抑制、人件費や電気代などの運営経費の圧縮である。

質 第三リフトは、1シーズンで最も

輸送人員が多く、特に初級者からのニーズが高いと思われるが、状況に応じた休止時期の延長の考えは。

答 リフト料金の改定により、今後の利用者が増加する可能性もあるので、総合的に勘案して決定していきたい。

質 利用者拡大の今後の取り組みは。

答 若年層のリフト料金を値下げし、将来のスキー人口の底上げとウインタースポーツの振興を図る。スキー場にてGOTOトラベル事業(地域共通クーポン)を活用し、カルルス温泉宿泊者限定のお得なリフト券を発行する。

質 スキー場利用の満足度が上がる事業内容を展開し、スキー場のさらなる活性化を進めていただきたい。

**脊柱側弯症の
早期発見の取り組みを**

小栗 義朗




小栗議員の
一般質問
中継はこちら

への張り出し、腰の高さの左右差などを確認するほか、前屈テストも行って

いる。昨年度、脊柱側弯症の疑いがあった児童生徒のうち、医療機関において脊柱側弯症と診断された児童生徒は2名で、全体の0.06%である。

**空き家問題の現状と
課題及び対策は**

佐々木 久美子




佐々木議員の
一般質問
中継はこちら

質 脊柱側弯症は脊柱が側方に湾曲するばかりでなく、脊柱のねじれを伴うことにより変形を生じるもので、成長期の児童生徒に起こりやすいと言われているが、本市の健診の状況は。

答 脊柱側弯症の検査では、学校医が目視で肩の高さ、肩甲骨の高さや後方

空き家等の件数は。

答 令和元年度438件。空家等対策審議会を経て認定した特定空き家の件数は、平成29年度5件、令和元年度1件。

質 空き家問題の課題は。

答 管理意識の希薄さによって、周辺に影響を及ぼしている等がある。

質 脊柱側弯症は児童生徒の1〜2%に見られるなど、比較的頻度の高い疾患であり、高校に入ってから発見されるといったケースもある。早期発見のためには、保護者にも関心を持ってもらう必要があるのでは。

答 学校健診では、事前に配布する問診票に図解入りで質問項目を設けているが、今後も健康カードや保健室だよりを通して早期発見に努めていく。

質 空き家等の発生抑制への対策は。

答 固定資産税の納付通知書にパンフレットを同封し周知している。

質 解消された空き家等の件数は。

答 空き家の解消件数は令和元年度52件、特定空き家は認定された14件のうち、6件が解消されている。

質 市民から、隣の空き家が管理されず、草木が繁茂し、毒蛾の発生で困っているとの相談があった。相談件数はどのくらいあるのか。

答 令和元年度で43件であった。

質 空き家により市民生活に支障が出たときに「どこへ、どのように問題を伝えるのか」を示す必要があり、市広報にも掲載すべきと考えます。

**登別マリンパーク
ニクスの今後は**
米田 登美子



米田議員の
一般質問
中継はこちら

質 マリンパークニクスの売買交渉が年内に進められるが、施設などの資産価値を踏まえ、今後どのように進められるのか。

また、過去に交わした覚書には、修繕は無償貸借にあたり、相手方の責務になっているとの認識であったが、今

答 本件の建物は資産価値があると認識し、妥当な価格となるよう交渉に努め、売買の進め方は、本年11月を目前に施設等の売買に関する仮契約を締結した後、本契約書(案)を作成し、第4回定例会で財産の処分について議案の上程を予定。議決後本契約を交わし、売買代金の受け渡しや所有権移転登記の手続きを行う予定である。

修繕については、基本的には相手先の費用負担の下で行うものと認識しているが、老朽化の進む施設の根幹などの修繕や、施設と一体的な設備に関わる大規模な修繕は、個別の事案ごとに協議することが適当であると考えている。

交通工エリアの範囲が狭いことや津波浸水リスクが高いことなどが挙げられる。都市機能の適正配置、公共交通の利便性向上、安心・安全な居住環境の創出ということに重点を置き、まちづくりを進めていきたい。

**コンパクトシティの
将来像はいかに**
成田 昭浩



成田議員の
一般質問
中継はこちら

質 地域の強み弱み、特徴を活かした目指すまちの姿や重点テーマは何か。

また、将来像が描けるようなランドデザインが必要なのは。

答 地域課題としては、人口密度の低下や市街地の空洞化の進行、生産年齢人口の減少による税収入の低下、公共

質 市長4期目のスタート、市制施行50周年、次年度策定の都市計画マスタープランのほか、各種計画への取り組みなど、節目でのコンパクトシティ推進構想を市民にどう示していくのか。

答 地域間交流の中でも、経済や文化、健康、市民生活のつながりが重要と考える。市民にとって有益となる居住、交通誘導、都市機能について、地域住民と話し合いの機会を持ちたい。

新型「コロナウイルス」によって、成長の証を実感できる卒業式・入学式等の行事が簡素化された中でも、無事に舉行された一方で、長期にわたる臨時休業後の学校生活になじめず、精神的不安定となり登校拒否が見られます。

質 これらの児童生徒の実態把握と対応

「コロナ禍から子どもを守るために」
渡辺 勉



渡辺議員の
一般質問
中継はこちら

現在、コロナ禍により具体的な町内会活動ができない状況において、今後も市連合町内会と連携しながら、これからの町内会活動の指針としてガイドラインが必要と考える。必要性和将来的な作成に向けた取り組みを支援する考えを伺いたい。

**町内会活動の
ガイドライン作成は**
田中 寛志



田中議員の
一般質問
中継はこちら

質 現在、コロナ禍により具体的な町内会活動ができない状況において、今後も市連合町内会と連携しながら、これからの町内会活動の指針としてガイドラインが必要と考える。必要性和将来的な作成に向けた取り組みを支援する考えを伺いたい。

また、分散登校により、1クラス30人以下の少人数学級になり、その教育効果が大きく取り上げられていることが閣議決定され、全国知事会・全国校長会・教育学会等による、全国的な実施を求める声広がっていると紹介しました。

応について伺う。

答 スクールカウンセラーや相談員等により、心のケアを十分に行っている。

質 コロナ禍の中、児童生徒によるトイレの清掃ではなく、業者による清掃にはどうか。

答 これまで通り、児童生徒と教員で行っていく。

また、分散登校により、1クラス30人以下の少人数学級になり、その教育効果が大きく取り上げられていることが閣議決定され、全国知事会・全国校長会・教育学会等による、全国的な実施を求める声広がっていると紹介しました。

答 市連合町内会事務局では、日ごろから行っている各町内会への助言や情報収集などに加え、例年開催している各町内会役員が活動について話し合う場においても、コロナ禍やその収束後における活動の姿とその指針はどうかあるべきか、共通認識を持ちたいとの意向があります。

本市としては、同事務局を通じて引き続き連携し情報共有に努め、指針の作成などを検討する際には、その動きに協力するとともに、町内会の自主性を尊重しながら、活動やネットワークづくりを支援していきたいと考えている。

令和2年度補正予算

第3回定例会にて、令和2年度一般会計補正予算とカルルス温泉スキー場事業特別会計補正予算及び水道事業特別会計補正予算の審査のため、予算・決算委員会が開催されました。

一般会計補正予算審査においては、各款ごとに審査が行われました。

主な質疑として、民生費における妊娠期応援給付金、保育所等従事者応援給付金の給付対象となる方の働いていた時期や、給付を認める期間について質疑が交わられました。

児童福祉費においては、普通保育所新型コロナウイルス予防経費として、体温検知顔認証カメラの購入に関する質疑や、児童福祉施設のICT化を推進する事業に対する質疑などがありました。

商工費においては、湯之国登別クーポン発行事業補助金やウエルカムキャンペーン事業補助金、登別観光案内ICT化事業補助金など、今後の観光振興に関する事業に対し質疑があり、質疑終了後、全会一致で補正予算を可決しました。

カルルス温泉スキー場事業特別会計補正予算審査では、新たに導入予定のリフト券事前購入システムや、改札ゲートシステムの設置に関する質疑、感染症対策としての備品購入、レストランの券売機の設置などに関する質疑があり、質疑終了後、全会一致で補正予算を可決しました。

水道事業特別会計補正予算審査は、特に質疑なく可決されました。

(井野)



詳しい質疑の内容を録画中継でご覧いただくことが出来ます。
スマートフォン等をお持ちの方は、左の二次元バーコードからご覧ください。

国会・政府に5件の意見書を提出

意見書は、市政の発展に必要な事柄の実現を要請するため、関係機関に提出するものです。

令和2年第3回定例会では、次の意見書を可決しました。
詳しい内容は、市議会ホームページでご覧いただけます。

防災・減災、国土強靱化対策の継続・拡充を求める意見書
新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書
離婚時における養育費の確実な取り決めと履行確保を求める意見書
軽油引取税の課税免除特例措置の継続を求める意見書
国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書

第3回 第4回 臨時会

本市議会では、年に4回（2～3月、6月、9月、12月）の定例会が開催されます。（2～3月開催の第1回定例会においては、市政執行方針、教育行政執行方針が示されます。）

この定例会のほかに臨時会も開催されます。定例会が年4回開催されるのと比較し、臨時会の回数は年によって異なります。令和2年においては、9月時点で4回の臨時会が開かれており、例年より多く開催されています。この

記事では、臨時会の意義と議会の役割を皆様と考えたく思います。

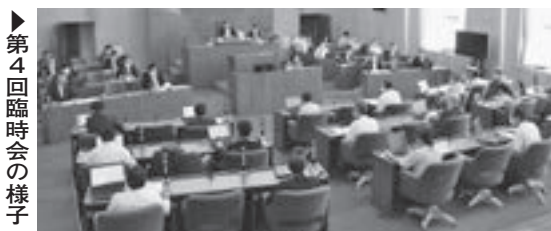
まず、臨時会をなぜ開催するかが、市議会の議決が必要であり、定例会まで間に合わない議案を審議・審査し、議決するために開かれます。この臨時会の招集は市長が行います。

直近の第3回・第4回の臨時会においては、新型コロナウイルス感染症対策経費に係る予算審議に多くの時間を割いております。

新型コロナウイルス感染症対策経費は、当初の予算編成には組み込まれておらず、国が2度にわたり地方自治体に対し地方創生臨時交付金として交付しました。本市においてもこの交付金を用いて、感染症対策や経済対策に係る事業を展開しております。予算の編成と予算の執行は市長の権限ですが、

予算の認定は議会の役割のため臨時会を開き各事業に対し質疑を行い、議会として予算を認定し議決しております。議会議中継を通し、臨時会を見ていただければ幸いです。

(井野)



▶第4回臨時会の様子

議会中継をスマートフォンなどで閲覧しませんか？

第4回定例会は12月4日（金）から開催される予定です。
本会議や各委員会は、スマートフォンやパソコンからでもご覧いただけます。

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、できる限りご来場しての傍聴はお控えいただき、スマートフォン、パソコンから議会中継をご覧いただきますよう、ご協力をお願いします。

令和2年第3回定例会における議案の賛否状況

第3回定例会で上程された議案はすべて可決され、否決された議案はありませんでした。

皆様からのご意見をお聴かせください！

gikai@city.noboribetsu.lg.jp

問い合わせ

議会事務局 (☎059220)